

第4学年国語科学習指導案

1 単元名 見学したことを報告しよう

2 単元の目標

○見学したことを報告しようと意欲的に取り組もうとする。 (国語への関心・意欲・態度)

○見学したことや調べたことをメモし、組み立て表を使って構成を工夫した報告文に書くことができる。 (書く能力)

○考えたことを伝えるには、適切な言葉遣いがあることに気付くことができる。 (言語についての知識・理解・技能)

3 評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
・見学したことを報告しようと意欲的に取り組もうとしている。	・組み立て表をもとに、相手を意識して構成を工夫して書いている。 (1) イ ・文章の間違いを正したり、読み手に伝わる表現になっているか読み返したりしている。(1) オ	・考えたことを伝えるには、適切な言葉遣いがあることに気付いている。

4 単元について

(1) 単元を貫く言語活動と扱う教材

本単元では、「B書くこと」の言語活動例「イ疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりすること。」を具体化し、保護者や消防署に向けて稲毛消防署を見学して分かったことを伝える報告文を書く活動を、単元を貫く言語活動と位置付ける。

本単元は、社会科見学で分かったことや、見学後、追加で調べたことを整理して組み立て表を作り、それをもとにして報告文を書く学習である。児童は三年生の「見学したことを知らせよう」で見学したことやインタビューをしたことをもとに報告文を書いている。しかし、本単元では見学した後にもう一度調べるといった活動が追加されており、前単元以上に段落相互の関係を意識して構成を考える必要がある。そこで、組み立て表は文章の構成を意識することができるよう既習事項である「始め」「中」「終わり」の3段構成のものを使用する。3段構成を意識することができるように、組み立て表には二瓶が提唱する説明文の構造を家に見立てた序論・本論・結論の3つの大部屋といくつかの小さな小部屋に分けられる構造を取り入れる。説明文の学習でも活用しているこの家の構造を本単元の学習でも活用することで読み手に分かりやすく伝わるように段落相互の関係を意識した構成を考えることができるだろうと考える。家の屋根の部分には報告文のテーマを書き、家の小部屋となる「始め」・「中」・「終わり」がそのテーマに沿った内容になっているかを常に意識して構成を考えられるようにする。また、「中」の内容を、自由に順番を入れ替えたり、付け足したりできるようにするために、段落ごとに書く内容を付箋に書くようにする。内容の順番は「見学した順番」、「手順」、「驚いたこと順」の3つの型を提示する。このようにすることで、児童は読み手に調べたことが分かりやすくなるように、意図をもって意欲的に組み立て表づくりに取り組むことができると考える。

本学級の児童は社会科の「火事を防ごう」で、消防士の方々の仕事の工夫や努力を学習した。また、火事を起こさないようにするためには自分たちでできることに取り組んでいく必要があるということも学習した。そこで、本単元の学習のゴールを、家族の人や見学させてもらった稲毛消防署の人に、調べたことを報告文で報告するとした。家族の防災意識を高めるために報告するという学習への意欲を高めると共に、大人に読んでもらうということで、大人にも納得してもらえるように、図や表、グラフなどを使って、具体的な情報を報告文に加えていくという意識を高めることができると考える。

(2) 本単元で身に付けさせたい力

本単元では、学習指導要領「B 書くこと」における指導事項イ「文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。」と指導事項オ「文章の間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりすること。」を受けて設定している。そこで、本単元では、稲毛消防署を見学して分かったことや、新たに調べたことが、読み手に分かりやすく伝わるように、段落相互の関係を意識して文章を構成して、報告文を書く力を育てる。また、互いに組み立て表や下書きを読み合っ、推敲記号を使うなどして文章をより良いものにする力も育てる。

(3) (1) と (2) 基盤となる言語活動や継続的な取り組み

①継続的な日記指導

本学級では、毎週末の宿題として日記を出している。内容は児童に与えた 20 ほどのテーマの中から 1 つ好きなものを自分で選び、書いてくるようにしている。書く際には、「始め」「中」「終わり」の順序になるようにすること、マス目の使い方は作文用紙と同じ使い方にするということを決まりとしている。構成を意識して書かせることで、作文を書く際には構成が大事であるということ意識づけられるようにしたい。また、作文の基本的な書き方を身に着けられるように指導している。

②モジュールを活用した取り組み「報告文パズル」

朝のモジュールの時間を活用して、報告文をバラバラにし、順番通りに並べ替える「報告文パズル」を行う。この活動は、調べたことを分かりやすく伝えるために順番を意識することができるようにすることを目的とした活動である。児童は報告文の家の形で覚えた報告文の構造を参考に並べ替えることで、文章の構造を理解し、しっかりと身に着けることができると思う。

5 指導計画 (全 13 時間)

次	時	学習活動	指導や支援の手立て◇評価 (評価方法)
1	1	○家族や消防士に向けて稲毛消防署を見学して分かったことを報告文で伝えようという意欲をもつ。 ○学習計画を立てる。	・教師が報告文のモデルを提示し、報告文を書くことに対する意欲を高める。 ・児童の気付きをもとに学習計画を立てる。
	2	○説明文と比較して、報告文の特性・書き方について考える。	・説明の構造を振り返り、比較することで報告文の特性や構造に気付けるようにする。 ◇報告文の特性や書き方について考えている。(発言・ワークシート)
2	3	○自分の調べたい課題を決め、取材メモの準備をする。	・社会科で学習したことを踏まえ、特に自分が調べたい課題を 2 つに決めて取材メモを作るようにする。
	社会	○稲毛消防署を見学し、分かったことをメモする。	・課題ごとに分かれたワークシートに記録することで、課題を意識しながら見学できるようにする
	4 5	○稲毛消防署見学で調べたことをもとに、更に調べたいことについて調べる。	・見学でわかったことからつながる課題や関連して調べたい課題を設定するようにする。 ・消防に関わる図書を中央図書館から借り、図書を使って調べられるようにする。
	6	○見学メモをもとに構成を工夫して組み立て	・「説明文の家」の枠組みを使って、構成を

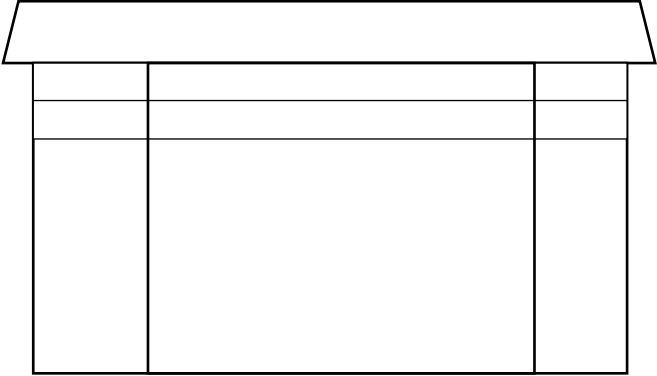
		表を作る。	意識した組み立て表になるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> 自由に順番を変えたり、付け足したりできるよう付箋を配布する。 組み立て表のモデルを提示し、構成を意識して作成できるようにする。 ◇段落相互の関係を考えて、自分のテーマに合った構成にした組み立て表を書いている。(ワークシート)
	7	○構成の型を参考に、組み立て表をもとにして見学してわかったことの構成がテーマに合っているか友達と話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 小グループで話し合う。 話し合いの柱と話し合いのモデルを提示し、意識して話し合えるようにする。 友達の意見を全て取り入れるのではなく、自分の納得のいくものを取り入れるようにする。 ◇段落相互の関係を考えて、見学して分かったことが自分のテーマに合った構成になっているか考えている。(ワークシート)
	8 (本時)	○構成の型を参考に、組み立て表をもとに新しく調べたことの構成がテーマに合っているか友達と話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 前時と同じ小グループで話し合う。 話し合いの柱と話し合いのモデルを提示し、意識して話し合えるようにする。 友達の意見を全て取り入れるのではなく、自分の納得のいくものを取り入れるようにする。 ◇段落相互の関係を考えて、新しく調べたことが自分のテーマに合った構成になっているか考えている。(ワークシート)
	9 10	○組み立て表をもとに報告文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> 説明文のモデルを提示して書き方が分かるようにする。 モデルを使って接続詞を意識して書くことができるようにする。
	11	○書いた報告文を友達と読み合い、文章を推敲する。	<ul style="list-style-type: none"> 推敲記号を一覧で掲示し、使いやすくする。 推敲記号を使用した推敲のモデルを提示する。 学力を考慮した小グループを作って推敲し合う。
	12	○報告文を清書する。	<ul style="list-style-type: none"> 推敲した下書きを使って清書をする。 ◇組み立て表をもとに、相手を意識した報告文を書いている。
3	13	○書いた報告文を家族に読んでもらい、感想を共有する。	<ul style="list-style-type: none"> 家族に読んでもらい感想を伝えてもらうことで、達成感を味わえるようにする。

7 本時の目標と展開 (8/13)

(1) 本時の目標

○構成の型を参考に、組み立て表をもとに新しく調べたことの構成がテーマに合っているか考えて書くことができる。(書く能力)

(2) 展開

学習活動	指導や支援の手立て ◇評価
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習計画表を示しながら、前時に作成した組み立て表を互いに見合い、新しく調べたことの構成が、自分のテーマに沿った構成になっているか話し合う時間であることを確認する。
<p>報告文の家の小部屋2が屋根に合ったつくりになっているか話し合おう。</p>	
<p>2 話し合いの仕方を確認する。</p> <p>①自分の報告文の家について小部屋の内容や構成した理由を説明する。</p> <p>②グループでそれぞれの組み立て表について話し合う。</p> <p>③付箋を動かしたり書き加えたりしてテーマに合った構成にしていく。</p> <p>④人数分①～③を繰り返す。</p> <p>【報告文の家】</p> <div data-bbox="148 1214 900 1807" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの流れは黒板に掲示しておき、児童が確認できるようにする。 ・教師の組み立て表を使って、話し合いのモデルを提示する。 ・「自分の課題とつながっているか。」「自分の伝えたいことが明確に伝わる構成になっているか。」の2点を話し合いの柱として意識して話し合えるようにする。 ・話し合いの際には、自分の構成と比べ、共通点や相違点を考えながら話し合うよう指導する。 ・構成した理由を説明する際には、「見学した順番」、「手順」、「驚いたこと順」のどの構成の型にしたのか理由を交えて説明するよう指導する。 ・付箋は書くことを表す大きな付箋と、内容を表す小さな付箋の2つを使う。 ・友達の意見を全て取り入れるのではなく、自分が納得のいく意見を取り入れることを助言する。 ・話し合いを行う際には消防署見学の時に使った見学メモや新たに調べたことのメモを持っていき、情報を追加できるようにする。また、使った図書資料も必要に応じて使用できるようにする。 ・使わなかった付箋は報告文の家の外の庭に貼るようにし、内容の取捨選択をできるようにする

3 グループで組み立て表を見合い、よりよくする。

(反応例)

- ・新しくことがたくさんありすぎるから、課題とずれている、この調べたことはいらぬんじゃないかな。
- ・道具の紹介をしているからその道具のイラストを入れたらイメージしやすいと思うよ。
- ・情報が少なくて分かりづらいから本に書いてあったこの情報も入れたらどうかな。
- ・驚いたことを構成の最初にしているね。読んでてぼくも驚いちゃったよ。

4 本時の学習を振り返り発表する。

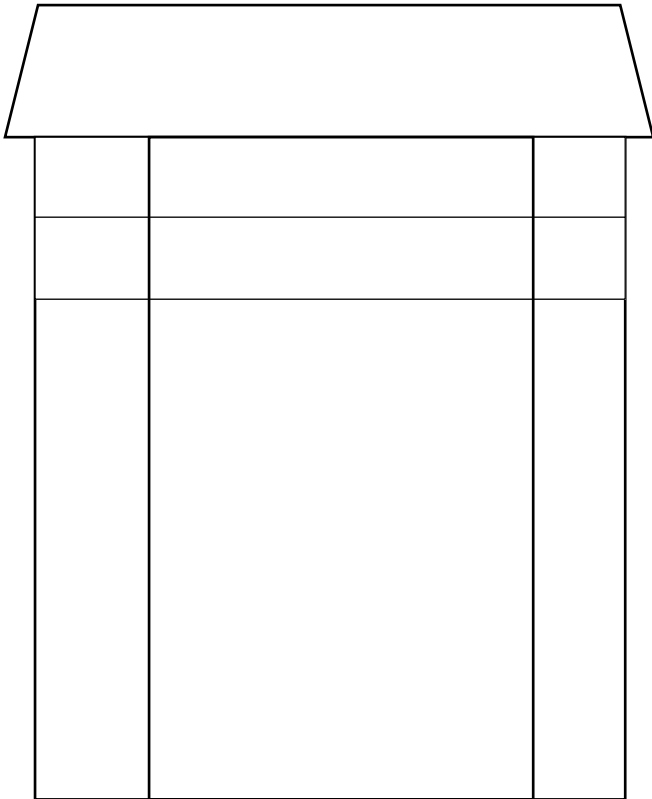
- ・話し合っただけ気付いたことや分かったことをワークシートに書く。
- ・振り返りを全体で共有する。
- ・次回は、完成した組み立て表を使って、下書きを書くことを確認する。

- ・学力を意識して3～4人程のグループを作って話し合う。

◇段落相互の関係を考えて、自分のテーマに合った構成になっているか考えている。(ワークシート)

- ・話し合っただけ新しく感じたことや話し合う前と比べて変わったことを振り返るようにする。

○板書計画



○構成の型 「見学した順番」「手順」「驚いたこと順」

- 話し合いの進め方
- ①自分の報告文の家について小部屋の内容や構成した理由を説明する。
 - ②グループでそれぞれの組み立て表について話し合う。
 - ③付箋を動かしたり書き加えたりしてテーマに合った構成にしよう。
 - ④人数分①～③を繰り返す。

- 屋根に合ったつくり→テーマに合ったつくり
- ・自分の課題とつながっている。
- ・自分の伝えたいことが明確に伝わる構成になっている。

報告文の家が屋根に合ったつくりになっているか話し合おう。